

## 指導行政のポイント

### 授業にすぐ使える“NICER”

菱村 幸彦

NICERをご存知だろうか。NICERならいつも使っている、という方は、以下をお読みになる必要はない。

#### 教育情報の中核的 Web サイト

NICERとは、国立教育政策研究所に付置された教育情報ナショナルセンター（National Information Center for Educational Resources）の略で、教育情報の中核的なWebサイトとして、わが国の教育・学習に関する情報ネットワークの中心的役割を果たすセンターである。

NICERは、平成11年に省庁連携のバーチャル・エージェンシーの「教育の情報化プロジェクト」報告で構想が示され、首相決定のミレニアム・プロジェクトで立ち上げられ、平成13年に政府の「e-Japan重点計画」のもとで、国立教育政策研究所に開設された。その後、二度にわたるリニューアルにより、一段と内容の充実と利便性の向上が図られ、今日にいたっている。

NICERは、インターネット上にあるわが国の初中教育、高等教育、生涯学習にわたる教育・学習に関する有益な情報（コンテンツ）を幅広く収集し、体系的に整理して提供している。現在、NICERが提供するコンテンツ数は9万2,000を超える。

コンテンツは、利用者に合わせて、キッズ（幼児・小学生用）、ティーンズ（中・高校生用）、先生（教員・教育関係者用）、大学（学生・教員用）、生涯学習（生涯学習者用）の5つに分かれて提供されている。

例えば、「キッズ」には小学生を対象にしたコンテンツが、教科別・学年別に分類され、しかもそれが学習指導要領の項目にしたがって提供されている。また、学習指導要領とは別に、「科学」「福祉健康」

「交流学习」「コンピュータ」などのカテゴリーに分けて整理したものもある。

このほか「文部科学省からの関連ニュース」という欄もあり、この欄には文科省が記者クラブで発表した資料を時間をおかず掲載してあるので行政関係者には便利であろう。

#### 求める情報にじかに到達できる

NICERの優れている点は、ほしい情報がずばり検索できることである。どなたも経験があると思うが、一般的な検索システム（例えば、YahooやGoogle）だと、キーワードを入れて検索しても、学習に関係のないサイトが多数ヒットしてしまう。そのなかにはジャンク（つまらない）情報も多数混入しているので、ほしい情報になかなか行き着かない。

この点、NICERは、有益なコンテンツを選んであり、しかも個々のコンテンツにLOM（Learning object metadata）（注）をつけることによって、利用者が求める情報に直接到達できるように工夫してある。

いや、百聞は一見にしかず。とにかく一度試してみてください。そのほうが、私の下手な説明よりよほどわかりが早いでしょう。

（注）LOMとは、いわば図書館の図書目録カードのようなもので、個々のコンテンツごとに、タイトル、概要、キーワード、教育分野、学年、利用者、利用制限、権利説明、ファイル形式、ファイルサイズ、再生時間、内容のまとめ、製作者などを、統一的な形式で作成したデータを指す。

（ひしむら・ゆきひこ＝国立教育政策研究所名誉所員）

教育新時代の教頭に必須の能力 / 読本 No163

『新編 教頭読本』

佐藤晴雄【編】A5判224頁・定価2310円

●新刊案内●

7月7日刊予定●申込み受付中

教育開発研究所刊

臨教審以降の改革の争点を5分野92項目に整理・徹底分析！ 今後の施策を検証する！

## 『教育改革の論争点』

市川昭午（国研名誉所員）【編集】

B5判250頁・定価2500円